

練馬通信

No. 358

平成 28 年 12 月
練馬第二小学校
校長 大槻 亨

オリンピック・パラリンピック教育の充実に向けて

校長 大槻 亨

先日開催いたしました展覧会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただき、心より感謝申し上げます。今回の展覧会は、「植えよう笑顔の種育てよう仲よしの芽 みつけよう一人一人の宝物」とのスローガンのもと、作品制作や鑑賞を通して、互いのよさを認め合い、人との関わりを意識した活動をすすめてまいりました。また、六年生が作品のガイドをする新たな取組を行いました。皆様のご感想をお寄せいただければ幸いです。

さて、今年も残すところあと一か月となりました。今年の大きな話題の一つにブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催されたオリンピック・パラリンピックがあります。東京でのオリンピック・パラリンピック開催まで、あと4年となり、東京都全体が、オリンピック・パラリンピックを盛り上げていくという機運に満ちています。

本校におきましても、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるという千載一遇のチャンスを活かして、ボランテニアマインドや障害者理解、スポーツマンシップや豊かな国際感覚といったオリンピック・パラリンピック教育を推進していきたいと考えています。その一環として、十一月十二日(土)には、道徳授業地区公開講座を東京都が推進する「こころのチャレンジプロジェクト」としてトップアスリートを迎えて開催いたしました。これにも多くの皆様にお越しいただきましたことをお礼申し上げます。このプロジェクトは、東京都で約千八百校ある小学校の中で、年間わずか二十五校程度しか選ばれない事業です。子供たちにとっても、オリンピックを身近に感じられるイベントとなったと思っております。また、来年の一月十四日(土)にも、高学年を対象にバ

ルセロナオリンピックに出場したバスケットボール選手であります桑田さんをお迎えする予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

さらに、外国の小学校とも交流を考えています。これは、東京都が考える「世界ともだちプロジェクト」という活動の一環であり、オリンピック・パラリンピック大会参加の国を幅広く学び、交流していくという取組です。都内の各小学校には、東京都から割り当てられた国があります。本校は、ルーマニア、ロシア、シリア・アラブ共和国、南スーダン共和国、アンティグア・バーブーダ、ベネズエラ・ボリバル共和国が割り当てられています。政情不安定な国もあり、全ての国と交流するというのは難しいため、その中のルーマニアと交流をしていきます。すでに、ルーマニアの小学校からビデオレターが届いています。児童朝会で見る予定です。また、来年の1月には、ルーマニアの大使館の方をお招きして、ルーマニアの文化に触れる機会を設ける予定です。今後もメールなどを通して、お互いの学校行事の様子などを交換して、交流を深めていきたいと考えています。皆様のご理解・ご協力ほどよろしくお願いいたします。

十二月の行事予定

- 1 (木) 個人面談②五時間授業
- 2 (金) 午前授業
- 4 (日) 練馬区小学校音楽祭
- 5 (月) 委員会活動
- 6 (火) 個人面談③五時間授業
- 7 (水) 個人面談④五時間授業
- 10 (土) もちつき大会
- 12 (月) 貫井福祉園交流会(四年) クラブ活動
- 13 (火) 避難訓練
- 16 (金) 社会科見学(四年)
- 19 (月) お話の会(一、二年)・クラブ活動
- 20 (火) お話の会(三、四年)
- 22 (月) 終業式・五時間授業・給食終
- 23 (金) 天皇誕生日
- 26 (月) 冬季休業日始

- ※1月7日(土) 冬季休業日終
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 始業式・給食始
- 午前授業(一〜四年)
- 委員会活動(五校時)



★今月の生活目標

- ・みんなが使ったものを大切にしよう。
- ★週の生活目標
- ・遊び道具など使ったものの後始末をきちんとする。
- ・そつじや給食の後始末をきちんとする。

ユニセフ募金について

特別活動主任 柳井 裕美

今年度もユニセフ期間を実施し、様々な取組をします。今年度は、来年一月十一日（水）に、代表委員会によるユニセフ集会を行います。今年度は四月に熊本県で大きな地震があり、困っている人々のために何ができるかということを考えてる機会が多くありました。今回のユニセフ活動でも、互いに助け合う心を育てていきたいと考えています。

一月十二日（木）と一月十三日（金）の朝の時間に中央昇降口と東昇降口で募金活動を行います。また、子供たちは各学級で、ビデオ教材やリーフレットからユニセフの活動や様々な国の状況について学びます。ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

武石移動教室を終えて

五年担任 小倉 哲治

金津 春菜子

十月二十日から二十二日までの二泊三日、武石移動教室に行ってきました。無事に二泊三日の行程を送ることができたことを嬉しく思います。

一日目は、車山ハイキングをしました。澄んだ空気の中、リフトに乗った

り山道を歩いたりして、秋色に染まった長野の山々を楽しみました。夜はキャンプファイヤーで盛り上がり、仲間との絆を深めました。

二日目は、鷹山ファミリー牧場で乳搾りと飯盒炊さんバーベキューをしました。牧場の牛たちの命のお話を聞き、「いただきます」という言葉の意味を改めて考える機会となりました。みんなで調理したごはんやお肉は、とても美味しく感じたようです。そして黒曜石体験ミュージアムに行き、黒曜石などを使ったペンダントや弓矢を作りました。世界に一つのお土産ができ、子供たちは満足していました。夜はドキドキのきもだめし。泣き出してしまったり、怖がっている子を元気づける子がいたり、学校では見られない子供たちの様々な面が見られました。三日目は、松井農園でりんご狩りをしました。品種によって味が違うことに驚き、食べ比べを楽しみました。午後は群馬県立自然史博物館に行き、恐竜や動物の歴史を学びました。

日間でした。練二小の五年生としてふさわしかったと思います。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

もちつき大会の発表に向けて

三年担任 北野 智也

十二月十日（土）の学校公開で、もちつき大会が行われます。この大会に向けて、三年生では「おもちの歴史」や「おもちの材料」などについて調べ学習を行い、発表の準備を進めています。また、貫井囃子保存会の方々にご指導を頂き、演奏の練習にも取り組んでいます。

当日は三年生が「もちつき」に関する発表をし、貫井囃子の演奏を披露します。一連の準備を通して、子供たちが伝統文化に触れ、地域の方々との繋がりをより身近に感じ、自らも地域社会の一員であるという気持ちも育って欲しいと願っています。

もちつき大会を迎えるにあたり、保護者の皆様や地域の皆様には道具の準備や材料の調達などで大変お世話になります。たくさんの方々を支えられて本番を迎えられることに、心より感謝を申し上げます。



冬休みを迎えるにあたって

生活指導主任 神谷 文子

子供たちが楽しみにしている冬休みが近づいています。短い休みではありますが、新しい年を迎えるにあたり、次のことについてご家庭で話し合い、安全に、また有意義に過ごしていただきたいと思っています。

①家族の一員としての自覚

家事を手伝う、お正月等の挨拶をしっかりするなど、年末年始の計画をいっしょに話し合ひましょう。

②規則正しい生活

早寝・早起きをしつかりさせ、健康に過ごせるよう、ご家庭の約束をつくりましょう。

③お金の使い方

お年玉など高額なお金を手にすることが多い時期です。恐喝などの犯罪や、お金のトラブルに巻き込まれないよう、また計画的な使い方ができるような気を付けさせましょう。

④交通安全

年末年始は、交通事故にご注意ください。特に自転車の飛び出しによる事故には、十分気を付けさせてください。

⑤不審者等の被害の防止

区内でも、不審者の情報が寄せられています。また連れ去りによる事件も心配されるところです。暗くなったら、子供だけの外出は控えさせるなど、犯罪被害防止にご配慮ください。外出時には、防犯ブザーを着用させてください。

後日配付の「冬休みの生活について」も参照し、楽しい冬休みを過ごせるようにご協力をお願いします。

